



TITLE:

Integration of Traditional Architectural Identities with Contemporary Myanmar Houses in Central Myanmar(Abstract_要旨)

AUTHOR(S):

Nandar, Linn

CITATION:

Nandar, Linn. Integration of Traditional Architectural Identities with Contemporary Myanmar Houses in Central Myanmar. 京都大学, 2018, 博士(工学)

ISSUE DATE:

2018-03-26

URL:

<https://doi.org/10.14989/doctor.k21078>

RIGHT:

京都大学	博士（工学）	氏名	Nandar Linn
論文題目	Integration of Traditional Architectural Identities with Contemporary Myanmar Houses in Central Myanmar （中部ミャンマーにおける伝統的建築のアイデンティティと現代住宅との融合）		
<p>（論文内容の要旨）</p> <p>本論文は、本論文は、フィールド調査（使用状況、機能スペースの構成、レイアウト測量、写真収集等）および文献調査に基づき、マンダレー、マグウェイ等のミャンマー中心部の中部地域における 19 世紀からの伝統的な住居と 2000 年-2016 年に建設された現代建築を対象として、その空間構成や意匠の特質（アイデンティティ）を明らかにした。そして、両対象の比較考察を行い、現代の住居建築まで維持されてきた空間構成および要素の検証や維持のあり方について論じている。本章は 6 章からなっており、各章の内容および成果は以下の通りである。</p> <p>第 1 章は序論であり、本研究の背景と目的、位置づけを示した。</p> <p>第 2 章では、本研究が対象とするマンダレー、マグウェイ等のミャンマー中心部の中部地域における伝統的な住居建築の空間や意匠の特質（アイデンティティ）に包括的に影響を与えると考えられる気候や自然地形などの風土的要因、習慣や信仰などの文化的要因について文献資料をもとに整理を行っている。これにより、雨期と乾期による湿度の影響による伝統的建築のファサードや開口部の意匠の特徴、仏教に基づく古くからの人々の信仰の行為とその建築内の空間領域の特徴、コミュニティ形成の場所における集会空間の特徴など、伝統的な建築様式の基本的な意匠や空間構成を特定し、そのアイデンティティの基本的な分析の視点を抽出している。</p> <p>第 3 章では、中部 12 町村の 150 戸のフィールド調査（使用状況、機能スペースの構成、レイアウト測量、写真収集等）と文献調査に基づき、伝統的な住居建築における空間構成や意匠における特質（アイデンティティ）を実証的に明らかにしている。ミャンマーの伝統的住居建築における調査分析は稀少であり、日常生活における住まい方、信仰やコミュニティのあり方と場所、諸室の空間配置の構成を分析し、その特質と実体を明らかにした。具体的には、気候風土の要因から住居の保護としての壁や屋根等の建材材料や厚みの選択、特定のマイクロ気候における風・熱環境、オープンスペースや広場空間の確保などの物理的観点のみならず、ミャンマーの伝統的な信仰や慣習等、すなわち祭礼儀式の空間形成、親族関係、宇宙観などが意匠と空間構成へ影響を与えていることを明らかにした。たとえば、建築内における祭礼やリビングなどの共有性の高い領域である「Front」と個人性の高い領域である「Rear」、また性別による使用の差異の領域としての「Head」や「Foot」を特定している。さらに、顕著な特質をもつ 4 つの建築形式のタイプを抽出し、また部分要素における地域固有の意匠の特徴を評価した。これらは主として、個人活動の空間スペースとしての屋外バルコニー、リビングにおける多機能スペース、窓割り、壁と階段バルコニーの接合などに見られる特徴であった。</p> <p>第 4 章では、2000 年-2016 年に建設された現代の住居建築にみられる伝統的特質の調査と検証を行った。中部 7 地区における 298 戸を対象として、スペースの使用方法、機能的スペースの構成、平面レイアウトの測定と配置図の作成、記録写真、住民へのインタビューを含むフィールド調査に基づき、日常生活における住まい方、信仰やコミュニティのあり方、空間配置などを抽出した。その結果、先の伝統的建築の調査によって得られた基本的な特質と空間配置の構成が、概ね現代の建築にも維持さ</p>			

京都大学	博士（工学）	氏名	Nandar Linn
<p>れていることを実証的に明らかにした。そこでは、文化的慣習や生活行為が概ね維持されており、伝統的な特質の中で主要な構成である多機能・複合スペースについては、7つの類型パターンを抽出している。現代的建築においては、伝統的建築におけるリビングと祭礼スペースなどコアになる組み合わせをベースにしているが、ダイニングエリアが接続するなど多機能空間の展開が見られた。ここでは、ガラスの開口部を広く活用するなど伝統的空間におけるグランドレベルにおけるオープンスペースの代替的機能を内部空間に配置し、コミュニティ形成に効果のある空間への工夫が示された。</p> <p>第5章では、同地区における4章の現代建築の調査結果と、3章の伝統的建築の調査結果における典型事例に基づいて総括的な比較考察を行い、両者の特徴を整理した。その結果、生活行為を行うスペース、伝統的な宇宙観に基づく空間構成のコンセプトは維持されていることが示された。その一方で、機能やユーティリティ空間について変化があることを示した。たとえば、伝統的建築における寝室は個人個別の空間として構成されているが、現代建築では多機能的なユーティリティ空間として使用されていた。また、集会などのコミュニティスペースは多機能空間の中にも移行していることが指摘された。このように、現代建築においては、多機能空間の内容や諸室の組み合わせ、使用方法については、伝統的コアの構成を含みながらも、合理的に変化している部分があることを事例により明らかにしている。</p> <p>第6章は結論であり、以上の成果をまとめている。また、今後の実務への成果の展開として、住居建築のデザインにおける伝統的特質の維持のあり方について、ケーススタディに基づき実践的な提案を行った。</p>			

氏 名	Nandar Linn
-----	-------------

(論文審査の結果の要旨)

本論文は、フィールドおよび文献調査に基づき、マンダレー、マグウェイ等のミャンマー中心部の中部地域における伝統的な住居建築を対象として、その空間構成や意匠のアイデンティティの特質を明らかにし、それらが現代の住居建築に維持されている構成や要素の検証と維持のあり方を論じることを目的としている。主な成果は次の通りである。

(1) 伝統的な住居建築における空間構成や意匠における特質（アイデンティティ）の抽出

中部 12 町村の 150 戸のフィールド調査（使用状況、機能スペースの構成、レイアウト測量、写真収集等）と文献調査に基づき、日常生活における住まい方、信仰やコミュニティのあり方と場所、諸室の空間配置の構成を分析し、伝統的な特質を明らかにした。具体的には、気候風土の要因から住居の保護としての壁や屋根等の建材材料や厚みの選択、特定のマイクロ気候における風、熱環境、オープンスペースや広場空間の確保などの物理的観点のみならず、ミャンマーの伝統的な信仰や慣習等、すなわち祭礼儀式の空間形成、親族関係、宇宙観などが意匠と空間構成へ大きな影響を与えていることを明らかにした。さらに、顕著な特質をもつ 4 つの建築形式のタイプを抽出し、また部分要素における地域固有の意匠的特徴を評価した。これらは主として、個人活動の空間スペースとしての屋外バルコニー、リビングにおける多機能スペース、窓割り、壁と階段バルコニーの接合などに見られた。

(2) 現代の住居建築にみられる伝統的特質の検証と維持への提案

中部 7 地区における 298 戸のフィールド調査に基づき、日常生活における住まい方、信仰やコミュニティのあり方、空間配置などを整理した。その結果、先の伝統的建築の調査によって抽出された基本的な特質と空間配置の構成は概ね現代の建築にも維持されていることを実証的に明らかにした。ただし、多機能空間の内容や諸室の組み合わせ、使用方法については合理的に変化している部分があることを実例により示した。今後の住居建築のデザインにおける伝統的特質の維持のあり方について、ケーススタディに基づき実践的な提案を行った。

上記の通り、本論文は、中部ミャンマーにおける伝統的建築のアイデンティティと現代住宅との融合における新たな解明を行ったものであって、学術上、實際上寄与するところが少なくない。よって、本論文は博士(工学)の学位論文として価値あるものと認める。また、平成 30 年 2 月 19 日、論文内容とそれに関連した事項について試問を行って、申請者が博士後期課程学位取得基準を満たしていることを確認し、合格と認めた。なお、本論文は、京都大学学位規程第 14 条第 2 項に該当するものと判断し、公表に際しては、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものとすることを認める。

要旨公開可能日： 年 月 日以降